

市 場 概 要

1. 名 称	山形市公設地方卸売市場
2. 開設者	山 形 市
3. 所在地	山形市大字漆山 1420 番地
4. 開設認可	昭和 50 年 3 月 25 日
5. 業務開始	昭和 50 年 4 月 1 日（中央卸売市場） 平成 22 年 4 月 1 日（公設地方卸売市場）
6. 敷地面積	128,119 m ²
7. 主要施設面積	
(1) 卸 売 場	11,833 m ² （青果 8,314 m ² 水産 3,519 m ² ）
(2) 仲 卸 売 場	3,761 m ² （青果 1,914 m ² 水産 1,847 m ² ）
(3) 買荷保管積込所	2,096 m ² （青果 1,336 m ² 水産 760 m ² ）
(4) 倉 庫	945 m ² （青果 687 m ² 水産 258 m ² ）
(5) 冷 蔵 庫 棟	2,556 m ² （庫内有効面積 1,286 m ² ）
(6) 管 理 事 務 所	1,395 m ²
(7) 関連商品売場	2,658 m ²
(8) 関係事業者事務所	3,424 m ²
(9) その他建物	1,701 m ²
(10) 駐 車 場	44,480 m ² （1,550 台収容）

8. 市場の沿革

昭和 44 年	2 月	関係業者の要望により建設計画の具体的検討にはいる。
昭和 47 年	2 月	卸売市場法に基づく指定区域の農林大臣告示
昭和 47 年	9 月	工事着工
昭和 50 年	2 月	山形市中央卸売市場業務条例制定
昭和 50 年	3 月	工事竣工
昭和 50 年	3 月	中央卸売市場開設認可（農林省指令 50 食流第 1301 号）、開場式挙行
昭和 50 年	4 月	業務開始
昭和 54 年	11 月	開場 5 周年記念市場まつり実施
昭和 58 年	12 月	低温冷蔵庫新設（第 3 次整備計画）
昭和 59 年	9 月	ガス設備改良工事（第 3 次整備計画）
昭和 59 年	12 月	関連商品売場増設（第 3 次整備計画）
昭和 60 年	9 月	開場 10 周年記念市場まつり実施
昭和 60 年	10 月	開場 10 周年記念式典挙行
平成 元年	2 月	冷蔵庫機械設備改良工事（第 4 次整備計画）
平成 元年	12 月	市場北側駐車場増設（第 4 次整備計画）
平成 2 年	8 月	開場 15 周年記念式典挙行
平成 4 年	12 月	卸売棟屋根改良工事（第 5 次整備計画）
平成 7 年	10 月	開場 20 周年記念式典挙行及び記念市場まつり実施
平成 13 年	6 月	青果仲卸荷捌所新設
平成 13 年	12 月	水産物定温仲卸売場新設
平成 16 年	3 月	給水管改修工事
平成 17 年	11 月	開場 30 周年記念式典挙行及び記念市場まつり実施
平成 17 年	11 月	高圧受電設備改修工事
平成 18 年	4 月	山形市中央卸売市場再編措置検討会設置
平成 18 年	5 月	山形中央水産(株)マグロ低温売場設置
平成 21 年	12 月	中央卸売市場整備計画の変更
平成 22 年	2 月	山形市公設地方卸売市場業務条例制定
平成 22 年	2 月	山形市公設地方卸売市場開設許可
平成 22 年	4 月	山形市公設地方卸売市場開場

9. 卸売業者

(平成 25 年 12 月 31 日現在)

青果部 (1社)

名 称	代 表 者 名	資本金	電話番号 (023)
山形丸果中央青果株式会社	村岡 憲一	5千万円	686-3520

水産物部 (2社)

名 称	代 表 者 名	資本金	電話番号 (023)
株式会社山形丸魚	矢野 秀弥	1億円	686-3611
株式会社山形丸水	相澤 啓一	5千万円	686-2711

10. 仲卸業者

青果部 (6社)

仲卸 番号	名 称	代 表 者 名	電話番号 (023)
11	株式会社伊藤青果	伊藤 和憲	686-2324
14	株式会社大共	渡邊 圀宏	686-6011
15	黒田青果株式会社	黒田 茂保	686-4018
16	有限会社齋藤青果物卸問屋	齋藤 太	686-2411
17	ヤマイチ青果株式会社	鈴木 誠一	686-3715
18	大一青果株式会社	遠藤 啓一	686-3022

水産物部 (6社)

仲卸 番号	名 称	代 表 者 名	電話番号 (023)
11	丸共水産株式会社	石井 功一	686-3291
12	株式会社矢野彦商店	矢野 史朗	686-3233
15	株式会社ヤマレイ	有海 広吉	686-2135
16	株式会社大善	大場 希之	686-2166
17	有限会社山形水産	佐藤 善彦	686-2311
18	株式会社紅花水産	小関 利昭	687-5287